

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中濃特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年10月19日(水) 9:30~12:30
- 3 開催場所 中濃特別支援学校音楽室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者

会長	沼田 明仁	くらちふれあいまちづくり協議会長
副会長	伊藤 園美	岐阜県立ひまわりの丘第一学園長
委員	朝倉 勝美	せき防災の会代表
	梅田 美保	美濃市ひばり園サービス管理責任者
	大谷 弘	各務原市手をつなぐ育成会理事長
	春見 隆	向山町自治会長(欠席)
	佐藤 由紀子	株式会社e-パックサービス管理責任者
	西田 尚子	本校同窓会後援会長(欠席)
	村田 泰弘	中部学院大学短期大学部幼児教育学科准教授(欠席)
	森 真悟	本校PTA会長
学校側	澤田 秀俊	校長
	村山 朋子	事務部長
	杉本 雅晴	教頭
	平野 直子	教頭
	三尾 葉子	小学部主事
	古田 洋子	中学部主事
	三宅 千絵	高等部主事
	浅野 泉	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

保護者等アンケートにおける結果説明後に質疑応答並びに授業参観を行い、これらを踏まえて、学校課題と考える3項目を中心に協議の後、高等部追加作業製品の販売価格について審議を行った。

(1) 「受け手まで届く学校運営に関する情報発信」の向上について

意見1:自治会の回覧板システムを活用して、「学校だより」を回覧するとよい。地域に特別支援学校があることの理解から一歩踏み込み、学校に関わる情報や取組について情報発信をするとよい。

意見2:「開かれた学校」の観点からも、地域住民に学校の情報を知ってもらうことが大切である。地域住民への積極的な情報発信を、卒業生の保護者の立場からも行ってほしい。

⇒学校通信等の自治会等における回覧を検討

意見3：地域の行事において、学校からの委託を受け、作業製品の販売が始まった。校外主催者側の立場から、これを契機として地域と学校とのつながりが太くなっていくとよい。

(2) 「体験的・経験的な活動を取り入れた合理的配慮に基づく支援」の向上について

意見1：授業において、タブレット端末や実物投影機等が活用されており、児童生徒が理解しやすく、また、意欲が高まる工夫がされていた。

意見2：児童生徒は学校卒業後もタブレット端末に関わっていくことから、活用機会の確保と活用方法を学ぶ学習は大切な取組でよい。

意見3：児童生徒が分かるように教職員は言葉を選んでゆっくりと話し、その理解の様子を確認しながら授業を進められていてよい。

意見4：教職員が言葉掛けと共に、補助的な視覚支援として手話、身振り、手振りを用いており、児童生徒にとって分かりやすい効果的な支援でよい。

意見5：音楽の授業においてオリンピック選手の動画が用いられ、生き生きと全身で表現する生徒の姿を見た。分かりやすさだけを重視するのではなく、児童生徒の生活年齢にふさわしく、興味・関心に合った教材選定の大切さを改めて実感した。

(3) 「児童生徒・保護者の心情に寄り添った意思疎通」の向上について

意見1：いじめや差別の有無、仮に有った場合にはどう対応をしているのか。

⇒素直で幼さが故の言動あり、関係法規を遵守した早目の組織的対応

意見2：不登校児童生徒の在籍有無、いた場合における不登校実態について教えほしい。

⇒本校在籍後に不登校となった児童生徒なし、その後不登校改善の児童生徒あり

意見3：新型コロナウイルス感染症対応に関する情報を伝える際には、正確な情報伝達と慎重な言葉選びが欠かせない。保護者がどのように言葉を受け止めるのかを俯瞰的に捉え、誤解を生まない丁寧な対応が大切である。

意見4：不測の事態が生じたとき、保護者が該当者に伝えることを躊躇される場合がある。日常的に児童生徒に関わる関係機関が連携を図って情報を共有し、組織的に保護者対応を行っていくことが重要である。

意見5：言葉で伝える場合、教職員の誰もが同じように対応できるように共通理解を図っておくことが日常において大切であり、危機管理の視点からも重要である。

(4) 高等部追加作業製品の販売価格について

意見1：価格設定の根拠が明確であり、妥当な販売価格である（全員）。

6 会議のまとめ

追加作業製品6点の価格について審議を行い、参加委員より全て承認を得た。また、保護者等アンケート結果とそれを踏まえた授業参観を基に、各委員よりそれぞれの立場から、積極的かつ具体的な発言があり、今後の学校運営の改善に向けて極めて有益な提言・助言が得られた。これをエビデンスとして、本年度の本校における反省へ早々に着手し、さらによりよい学校づくりに取り組んでいく。